



青森エタムリーNEWS

NO. 28

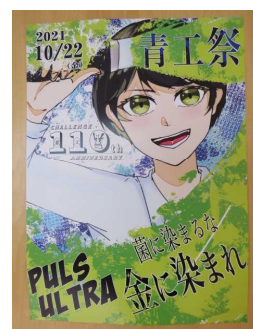
令和4年1月7日発行

青森県立青森工業高等学校 学習メディア部

今号では、2学期の生徒を中心とする学校の活動状況の一端をお知らせします。新型コロナ感染拡大防止のために、9月は全県一律に1か月間、ほとんどすべての学校行事及び部活動が中断されるという困難な状況がありましたが、その後は全国的に感染が急速に減少し、本校でも通常の学校生活を取り戻しつつあります。始業式や終業式は放送のみで行われるという状況は続いていますが、11月初旬には生徒会役員立会演説会が放送で行われ、投票も各自のスマホから投票するというなかで、生徒会長・応援団長をはじめとする新体制のもと、来年度こそはという気持ちで新たな活動のスタートが切られています。その新体制のもと、12月22日、23日の2日間にわたって全校スポーツ大会が開催され、大いに盛り上がりました。裏面には、その活動状況を紹介しています。部活動についても、10月から順次再開され、各競技の新人大会が開催されました。その結果等については、次号の卒業式特集のなかでご紹介します。そのほか、今号では、青工祭や企業見学会、ロボットコンテストなどを取り上げています。どうぞご覧ください。

【青工祭2021 PULS ULTRA～菌に染まるな、金に染まれ～】

10月22日（金）コロナ禍のなか、青工祭が1日限定で開催されました。一般公開はなしで、生徒、教職員のみでの開催となりましたが、1学年は校内装飾、2学年はクラス展示、3学年は模擬店で、各クラスとも創意工夫が凝らされ、特に中庭で開催された模擬店は盛況で、予想外に売り上げを上げていました。生徒にとっても良い思い出になったのではないのでしょうか。1週間くらい前から準備期間に入り、放課後遅くまで企画や制作に取り組みました。今年は、各クラスでそれぞれの思いを込めたクラス旗や灯籠が制作され、灯籠は閉祭式で一斉に点灯され、最後は打ち上げ花火で祭りを締めくくりました。



【現場見学会】

- 2学期は、恒例の1学年の現場見学会が行われました。
- ・電子機械科 — 日本原燃・六ヶ所PRセンター（11月1日）
 - ・電気科 — 東北電力株式会社の津軽発電所（10月19日）
 - ・建築科 — 新町1丁目地区優良建築物等整備事業に伴う建築物新築工事（10月8日）
 - ・都市環境科 — 駒込ダム建設工事（10月14日）など
- 写真は、駒込ダム建設工事現場見学会の様子です。



2学期は、他にも外部講師を招聘しての講習・特別授業・技術指導などが各学科で、意欲的に実施されています。

【青森県ロボット競技大会】

10月2日（土）、本校体育館を会場にロボット競技大会がコロナ感染拡大の影響で1か月延期しての開催となりました。エントリーした7校11チーム出場のなかで（本校からは3台出場）、写真の『あなボン』チームが惜しくも弘前工業高校のチームに競り負けましたが、2位になりました。来年の全国大会が青森県で開催されるということで、上位入賞目指して切磋琢磨していくとのことです。



他にも、11月13日（土）～14日（日）にマイコンカーラリー北東北大会兼2022全国大会予選が本校を会場に開催され、

ADVANCEDクラスで、情報技術科2年の今泉君が、24.59秒で、コースを完走し、全国大会出場権を獲得しています。

【スポーツ大会】

12月22日、23日の両日、1日半の日程でスポーツ大会（競技は学年別）が開催され、生徒たちは活き活きとしたプレーで寒さを吹き飛ばしていました。競技は22日が室内サッカー、バスケットボール、オセロ、将棋。23日がバレーボール、バドミントン、卓球、神経衰弱、ババ抜きです。学年ごとの結果は以下の通りです。全学年で建築科が優勝しました！

総合優勝	1学年	1位建築科	2位機械科	3位電気科
	2学年	1位建築科	2位電気科	3位機械科
	3学年	1位建築科	2位都市環境科	3位電子科。



～終わりに～

2学期にはその他に、地域や学校間の交流事業として、野内小学校児童との金魚ねぶた制作や青森第二高等養護学校との、ものづくり交流会なども実施しました。最近、オミクロン株による感染再拡大という状況にもなりましたが、今まで以上に徹底した感染対策を施して、卒業式を控えた3学期を乗り切っていきたいと思います。